

## ワンポイントアドバイス

### のう 胆嚢結石症

川口市立医療センター

消化器外科

いとう  
伊藤

りゅうすけ  
隆介



胆嚢は右上腹部、肋骨下縁辺りにあり、肝臓で作られる胆汁という消化液を一時的に貯留、濃縮して食事に伴い排出する臓器です。胆汁は肝臓から胆管という管を通り、脇道の胆嚢に保存され、再び胆管に戻り十二指腸に排出されます。この胆汁成分を元に胆石ができることがあります。胆石は胆管にできることもありますが、多くは胆嚢内で胆汁の流れを邪魔して痛み（胆石発作）や炎症（急性・慢性胆嚢炎）を起こします。また、胆石が胆管に流出して障害を起こすと胆管炎や膵炎を引き起こします。胆嚢・胆管いずれでも重症になると、ショックや臓器不全など命にかかわることもあり、注意が必要です。

日本人の1～2割に胆石ができるといわれ、実際に症状が出て治療されるかたはさらにその1～2割とされます。痛み・炎症など有症状のかたが治療の対象となり、ほとんどが腹腔鏡手術で安全に施行されています。とはいえ手術である以上、合併症や死亡例もゼロではありません。急性症状では緊急で内科的治療・処置や手術を行うこともあります。緊急性がなければ手術リスクや希望に応じた手術時期の調整、手術以外の内服・食事管理を相談することも可能です。また、胆嚢の周りには胃・十二指腸・肝臓・膵臓・大腸・腎臓など多くの臓器が近接しているため、胆石があっても痛みや炎症の原因が胆石とは限りません。上腹部の痛みや胆石を指摘されたら、まずはかかりつけ医や専門医での診断と食生活の指導や手術適応などを相談しましょう。